



いんばぬま豆知識シリーズ その⑩

～洪水排水編～

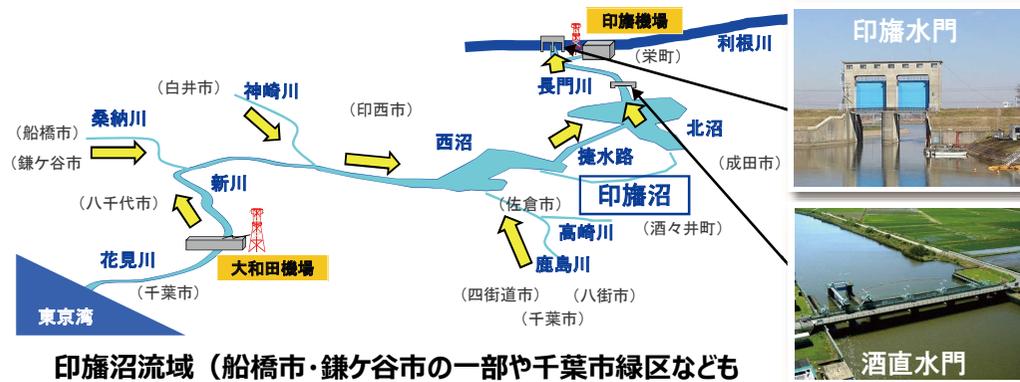


印旛沼流域に降った雨はどうなるの？

印旛沼に降った雨は、その量や沼流域・利根川の状況に応じて、流れていく向きが変わったり、ポンプ排水を行ったりします

【その1】ふだんの流れと洪水の初期段階

→酒直・印旛水門を通過して利根川へ自然に流れていきます

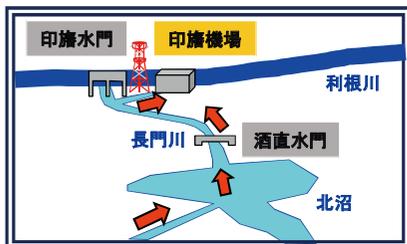


印旛沼流域（船橋市・鎌ヶ谷市の一部や千葉市緑区なども含む）に降った雨は昔から自然の勾配で利根川に流れていきます。



【その2】洪水中期（利根川が水位上昇）

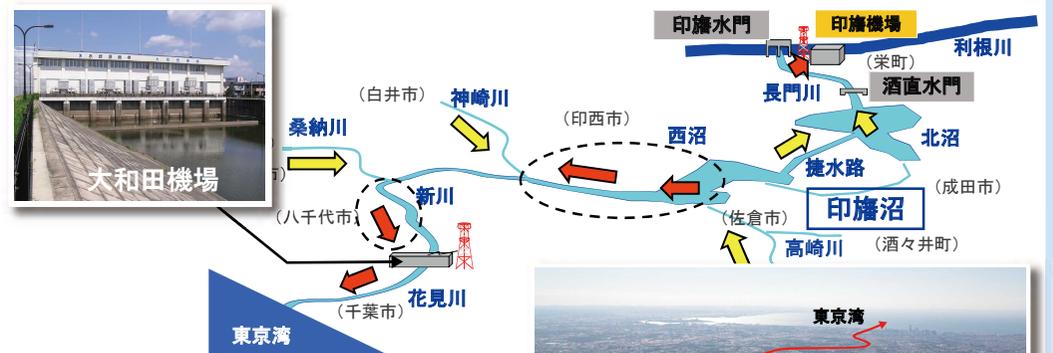
→印旛機場による利根川へのポンプ排水を行います



大雨で利根川の水位が上がってくると、昔は利根川の水が印旛沼へあふれてきましたが、現在は印旛水門を閉めて、印旛機場によるポンプ排水を行います。

【その3】さらに洪水が多くなってくると…

→大和田機場による東京湾へのポンプ排水を行います



さらに流域の雨が沼に大量に入ってくると、西沼の水を効率よく排水するため、大和田機場のポンプ排水によって、花見川を通じて東京湾へ排水します。このとき、新川は通常と逆方向に水が流れます。



【そのほか】

近年の気候変動や沼周辺の都市化によって、雨が降ってから沼に洪水が入ってくるまでの時間は年々早くなり、その量も雨の強度に応じて増加しています。

このため、印旛沼の水をあらかじめ下げる「予備排水」を行ったり、沈下した沼堤防のかさ上げ工事や、流入する河川の改修工事を行って洪水被害を防止する取組を行っています。

独立行政法人 水資源機構
Japan Water Agency
千葉県水資源管理機構
千葉県八千代市村上3139(大和田機場横) TEL.(047)483-0722
千葉県用水 検索